

福祉センターニュース

令和7年
5月20日発行
第218号

梅雨の時期は、気圧の変化による体のだるさや頭痛など体調を崩しやすいです。また、気温は高くなくても湿度が高いと、体の中に熱がこもりやすくなり熱中症の危険性が高まります。細菌やウイルスは高温多湿の環境を好みます。気温と湿度が上がり始める梅雨の時期から増殖が活発になります。食中毒やノロウイルス感染などにも注意が必要です。ノロウイルスにはワクチンがなく、治療は輸液などの対症療法に限られるので、予防対策を徹底しましょう。手洗いを十分にすることで予防しましょう。

発行：社会福祉法人熊本県社会福祉事業団
熊本県身体障がい者福祉センター
所在地 〒861-8039
熊本市東区長嶺南2丁目3番2号
TEL 096-383-6533
FAX 096-383-6535
Eメール k-fukushi@kssfc.jp
ホームページ <http://www.kssfc.jp/>

令和7年度の教室紹介

- 6年度から新しく始まった【パステルアート】を紹介します。7年度も引き続き開催されました。※年2回
- ・ハードパステルを削って粉状にし、指につけてくるくと描きます。
 - ・パステルの粉は消しゴムで簡単に消すことができ、何度でもやり直すことができるので失敗がないのも魅力です。
- 【6年度の作品】 ※7年度は4月は終わっておりますが、5月は31日予定です



淡い色合いがほっこりします



ハガキに描いて親しい人に送るのもいいですね



日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	
パソコン④			休館日				
8	9	10	11	12	13	14	
		水中運動⑥	休館日	水泳⑥		陶芸③	
15	16	17	18	19	20	21	
パソコン⑤		水中運動⑦	休館日	水泳⑦			
22	23	24	25	26	27	28	
			休館日				
29	30						
パソコン⑥							

サザンオールスターズの「夢の宇宙旅行」に♪あの世に咲く沙羅双樹の花♪というフレーズがでてきますが、この沙羅双樹の花は平家物語にも登場します。

『平家物語』第一巻『祇園精舎』より

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす。奢れる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。猛き者も遂にはほろびぬ、偏に風の前の塵におなじ。」

沙羅双樹の花の色が一瞬のうちに変わることを、この世のものは絶えず変化していつまでも存在するものではない「無常」のたとえとして用いられています。

沙羅双樹とは、釈迦が亡くなったときに寝床の四方にあったとされる2本の木を指します。花の色はクリーム色がかった白で、小さな花を密に咲かせます。ジャスミンに似た、甘く爽やかな香りを持っています。開花は6月中旬頃で原産国はインドです。日本では珍しい花のため、ナツツバキを沙羅の花としています。

【芳野 つよみ】